

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 4号)

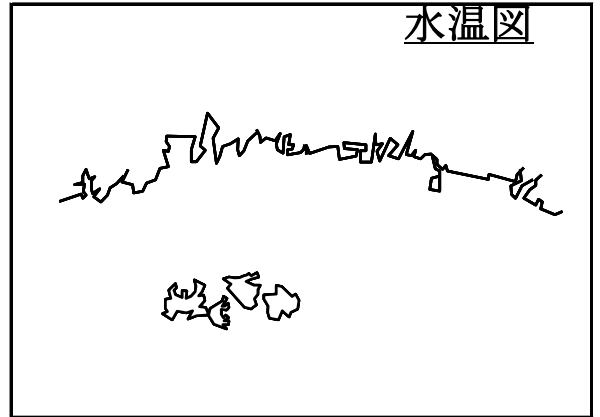
2024年11月11日発行
 兵庫のみ研究所

海域全般に、大型珪藻コシノディスカスと小型珪藻キートセロスが確認されました。窒素は、地先漁場の陸水の影響が見られる地点で10 μg at/L以上、その他の地点で1 μg at/L以下、沖合漁場では概ね2 μg at/L台の値となっています。

(栄養塩、珪藻)

西播地先では、大型珪藻コシノディスカスの発生量は大きく減少していたが、小型珪藻のキートセロス等が大量発生していた。沖合漁場では、コシノディスカス発生量は増加しており、キートセロスも確認された。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で50~100細胞(前回値:400~1200細胞)、沖合漁場で300~400細胞(前回値:50~150細胞)であった。

西播地先では、岩見漁場を除き、陸水の影響により窒素の値が高くなっていた。



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	3.0	9.1	4.5	4.2
	リン	0.61	0.51	0.56	0.72
家島・坊勢	窒素	3.3	2.7	4.5	1.3
	リン	0.62	0.57	0.65	0.65

(10/31) (11/8)

※西播地先の窒素の平均は網干を除く

栄養塩 (窒素) 図

2024年11月11日調査

